

秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要(2024年1月~3月期)

1. 調査対象 100事業所 (有効回答数95社、回答率95%)
2. 対象期間 2024年1~3月期実績 及び 2024年4~6月期の見通し
3. 調査結果の概要

全業種において、前期から今期にかけて悪化傾向が見られた。特に売上高や採算、資金繰りなどの指標が多くの業種で悪化しており、景気の停滞や経営上の問題が顕在化している。

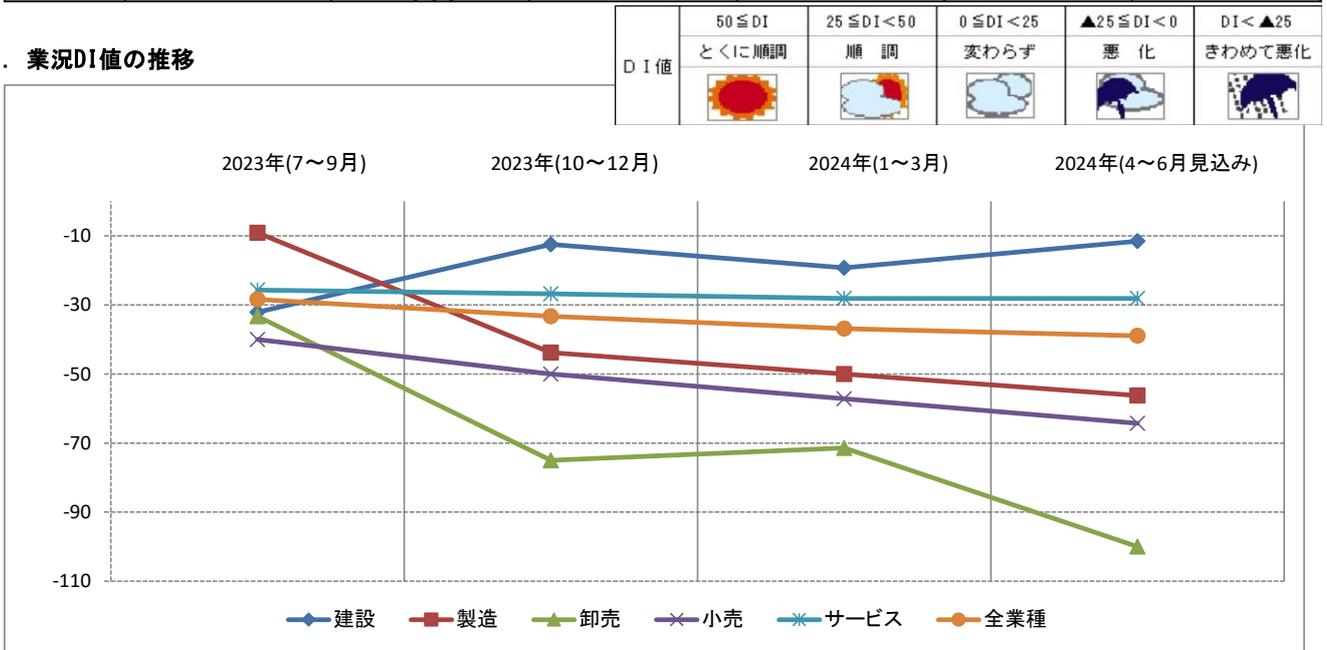
建設業では、人手不足や物価高、公共事業単価の低さなどが懸念されており、特に人手不足の問題が深刻化。一方、製造業や小売業、サービス業でも「需要の停滞」や「人件費の増加・圧迫」、「原材料費・人件費以外の経費の増加」など、経営上の課題が多岐にわたっている。

また、価格高騰が企業活動に与える影響については、影響が継続している企業が65%あり、今後の景気動向に対する不透明感がうかがえる。

4. 業種別項目別のDI値※ () は見通し

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	△ 15.4 (△ 19.2) 	△ 37.5 (△ 12.5) 	0.0 (△ 28.6) 	△ 21.4 (△ 35.7) 	△ 18.8 (△ 3.1) 	△ 20.0 (△ 15.8)
仕入単価	△ 73.1 (△ 69.2) 	△ 93.8 (△ 75.0) 	0.0 (△ 42.9) 	△ 64.3 (△ 85.7) 	△ 43.8 (△ 50.0) 	△ 60.0 (△ 64.2)
採算	△ 19.2 (△ 30.8) 	△ 37.5 (△ 37.5) 	△ 14.3 (△ 57.1) 	△ 28.6 (△ 42.9) 	△ 25.0 (△ 18.8) 	△ 25.3 (△ 31.6)
資金繰り	△ 3.8 (△ 3.8) 	△ 12.5 (△ 12.5) 	△ 14.3 (△ 14.3) 	△ 14.3 (△ 42.9) 	△ 6.3 (△ 6.3) 	△ 8.4 (△ 8.4)
従業員数	0.0 (△ 3.8) 	12.5 (△ 18.8) 	0.0 (△ 14.3) 	14.3 (△ 21.4) 	△ 6.3 (△ 9.4) 	2.1 (△ 1.1)
業況	△ 19.2 (△ 11.5) 	△ 50.0 (△ 56.3) 	△ 71.4 (△ 100.0) 	△ 57.1 (△ 64.3) 	△ 28.1 (△ 28.1) 	△ 36.8 (△ 38.9)

5. 業況DI値の推移



6 価格高騰による企業活動への影響について

影響は継続している	影響は出たが、既に収束した	今後影響が出る可能性がある	影響なし
56%	4%	29%	11%